

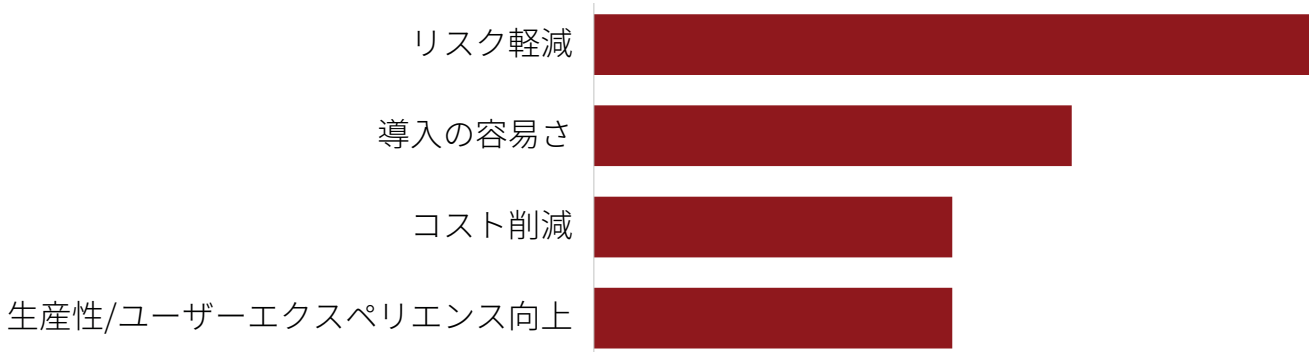
# セキュアアクセスサービスエッジ(SASE)の成果 セキュリティ担当者によるレポート

## 要約

S&P グローバル・マーケット・インテリジェンスは、2022 年末から2023 年初めにかけてセキュアアクセスサービスエッジ (SASE) に関するカスタム調査プロジェクトを実施しました。同プログラムは、ヨーロッパとアジア太平洋地域の回答者を対象にSASE プロジェクトの特性評価に焦点を当てたものです。調査結果は3段階からなるレポートにまとめられ、最初のレポートではSASE の潜在的なビジネスと技術的なメリットについて、第2報では実際の SASE 導入から得られた課題と教訓についてお伝えしました。そして今回の第3報となる最終レポートでは、SASE プロジェクトの成果について取り上げます。

SASE 導入がもたらした主な成果として参加者全員が選択肢から該当するものを選んだ結果、高評価を得た項目は「リスク軽減」、そして「継続的な導入の容易さ」が2位となり、「コスト削減」と「生産性/ユーザー エクスペリエンス向上」は同点で3位でした。

## SASE導入で得られた成果



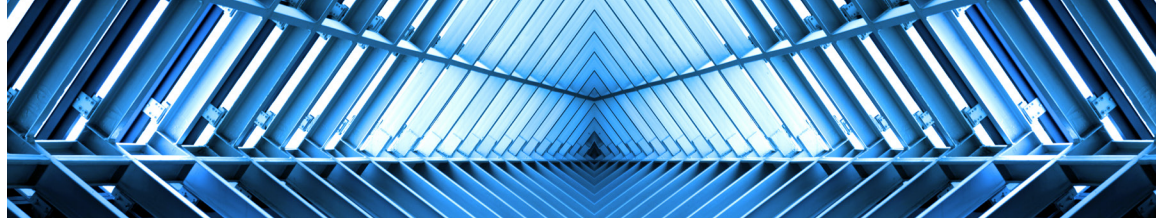
質問：「SASE/ZTNA 導入はどの成果をもたらしましたか？」への回答  
基数：バーチャル エグゼクティブ ディスカッションボードの回答者 (総計20人、うち太平洋地域10人/欧州10人)  
情報源：S&P Global Market Intelligence のカスタム SASE 調査、2023 年 3 月

## ビジネスへの影響

第1報と第2報では調査に参加したすべての組織がSASE 導入による受益を期待していることをお伝えしましたが、受益するにはいくつかの課題を克服する必要があります。今回の第3報では、その結果として、成熟した SASE導入で組織が達成した具体的な成果と、まだプロセスの初期段階にある組織へ期待される成果について説明します。回答者は、主要なSASEの成果として「リスク低減」「SASE導入の容易さ」「コスト削減」「生産性とユーザーエクスペリエンス向上」の4項目について回答しました（複数選択可）。

**リスク軽減** リスクへの対処は組織の主要な関心事です。SASE は、アーキテクチャの複雑さの軽減、制御粒度の向上、セキュリティ問題の解決までの時間短縮、拡大し続ける攻撃対象領域に対するカバレッジを高めるなど、さまざまな側面から貢献しています。リスク軽減の具体的な分野としては、新しい制御層を実装する機能や、悪意のあるユーザーを阻止することでより安全なユーザー環境を構築する機能などが挙げられます。また、参加者はコンプライアンス監査結果の改善についても言及しました。

例として、オーストラリア銀行組織のCISO は「コスト削減が目標に掲げられたことはありません。我々の目的はリスクの軽減です」と述べ、スウェーデン医療機関のCIO は、SASEは結果的に「より安全な環境、悪意のあるユーザーや敵対的な行動の阻止 ... (中略) ... より迅速な問題管理とより高いアップタイム」をもたらした、と報告しています。



**継続的なロールアウトの容易さと、関連するビジネス上のメリット** 参加者は、SASEは一度導入すればその後の継続的な展開が容易であると報告しました。導入初期に障害の多くが解消され、主要な学びが得られるので、これは当然の結果と言えます。また、新しい従業員の採用や新しいオフィスの開設など、組織の成長における合理化・簡素化が共通のテーマとして挙げられました。

参加者の1人である英国医療機関のCTOは、SASEのメリットを次のように説明しています。「(SASEによって)新しいサイトやビジネスエリアの導入が簡素化された。エッジでのSoftware-Defined Policyが迅速な導入をもたらし、価値の提供が可能となりました」。英国ホスピタリティ企業のCIOは「SASEによって、新しい従業員のオンボーディングが簡素化された」と報告しています。スウェーデン医療機関のCIOは「新ユニットへの迅速な展開」として、SASE導入が新しいオフィスやクリニックのより迅速な開設にいかに関与したかを述べました。他にも、SASEが新企業の買収など組織変化の対応に役立ったという報告も出ています。香港に拠点を置く公益事業会社のデジタルソリューション責任者は「弊社は有形・無形の利益を得ました。また、追加労力をほとんど加えずにM&A買収を“ボルトオン”できる柔軟性も得られ、業務変化にも対応できるようになりました」と述べています。

**コスト削減** 研究参加者にSASE導入後にコスト削減を実現できたか尋ねたところ、異なる回答が出ました。大幅なコスト削減につながったという企業もあれば、まだ導入初期であることやコスト削減を追跡せずにいたことなどから具体的な削減には至らなかったという回答もありました。削減に至らなかった企業のうちの数社は、導入したばかりなので数値化できないとしています。

スウェーデン医療機関のCIOは15%のコスト削減を報告し、シンガポールITサービス会社の地域CISOは「(弊社は)ネットワーク・ファブリックの交換プロジェクトを完了したすべての拠点で、通信コストと機器メンテナンスの大幅な削減を実現まし」と述べました。全体的に参加者の大多数はSASEはコスト削減の観点から見てプラスであると回答していますが、それはコスト計算が必要であると感じたケースであるといえます。

**生産性とユーザーエクスペリエンスの向上** 研究参加者は、IT/セキュリティスタッフとエンドユーザーの両方による効率性の向上(生産性の向上)と、簡素化されたユーザーエクスペリエンス(ユーザーエクスペリエンスの向上)の2点を明確なSASE成果として報告しています。

シンガポールを拠点とする鉱業・金属組織のアプリケーションとデータセキュリティの責任者である回答者の一人は「これまでに導入されたものでは、インフラの簡素化(生産性が即座に向上)と、モビリティやシステムへのアクセスにおけるユーザーエクスペリエンスの改善があります」と報告しています。シンガポールを拠点とするエンジニアリング会社の地域CISOは「SASEにより、高速パフォーマンスによるユーザーエクスペリエンスの向上も可能になりました」と語り、シンガポールを拠点とする別のITサービス企業の地域CISOは「エンドユーザーはVPNアクセスなしで99%以上のアクティビティを完了できるため、時間とフラストレーションの軽減になります」と述べています。

## 展望

調査参加者からのフィードバックによると、SASEは、リスク削減、継続的な展開の容易さ、コスト削減、従業員の生産性/ユーザーエクスペリエンスの向上などの分野で明確にプラスの結果をもたらしています。SASEプロジェクトには課題もありますが、それでも回答者の全員が肯定的な結果・利益を言及しています。



弊社では、企業があらゆるノイズを排除し、メリット・デメリットの双方を正しく把握できるよう本調査を依頼しました。企業が直面している課題とSASEがもたらすメリットの両方を理解することで、私たちは弊社のサービスを進化させることができます。弊社の経験豊富なネットワークセキュリティコンサルタントは、戦略的アプローチと目標運用モデル決定の支援のみならず、継続的なプロアクティブ管理の提供など導入までの道のりをサポートします。私たちは、お客様が導入のリスクを軽減し、より大きなメリットをより早く実現できるよう貢献していきます。

[欧州、中東、アフリカ ホワイトペーパー](#)

[アジア太平洋地域 ホワイトペーパー](#)